

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第3回高松市創造都市推進懇談会（U40／第7期）	
開催日時	令和7年6月24日(火) 午後6時30分～午後8時	
開催場所	高松市役所13階 大会議室	
議 題	1 創造都市関連施策に係る意見交換 2 その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
上記理由		
出席委員	多田委員、竹森委員、山地委員、金川委員、水原委員、藤田委員、伊澤委員、田村委員	
市参加者	農林水産課	末原補佐、橘係長
	観光交流課	谷口係長、北濱主事
	広聴広報・シティブロモーション課	千馬係長、徳田主事
傍聴者	0人	
担当課及び連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411	

### 審議経過及び審議結果

#### 1 開会

（事務局から開会挨拶）

#### 2 意見交換

【会長】

意見交換を行っていきたい。最後に、各グループで、どのような話をしたのか、全体で共有する時間を持ちたい。

**（各グループで意見交換）**

【会長】

グループごとに、どのような意見交換をしたのか、発表してほしい。

## 審議経過及び審議結果

### 【広聴広報・シティプロモーション課グループ】

TKMT の普及方法について議論を進めている。高松市内に向けての普及活動に焦点を絞ることにした。方向性としては、「toB（Business）」と「toC（Consumer）」の2つに分けられる。「toB」は商店街や地元で活動している事業者に対して利益が生まれるような取組、「toC」は一般消費者や市民に向けた取組である。

まず、教育分野での TKMT の普及を検討した。具体的には、TKMT の冊子から必要な情報や事例を抜粋して短くまとめ、ワークシートを作る。そして、小学生を対象に、TKMT で自分の学校や学区、家族の良いところを考える宿題を出すことで、学生に TKMT を広める。これを基に、様々な行事で TKMT を活用する流れを作りたいと考えている。

これにより、総合学習の1つのコンテンツとして TKMT を活用できる可能性がある。最近の学校は SNS やブログを行っているところも多いので、生徒全員が「学校・学区の魅力」を TKMT で考えれば、1日で1年分の投稿ネタを集めることができる。このように、教育の場で TKMT を活用する取組を進め、さらに将来的には、「TKMT コンテスト」を開催することも検討したい。市内事業者に協力を仰ぎ、賞品の品を提供してもらい、学生だけでなく一般の人でも参加できるようなコンテストを企画する。その際、ワークシートを活用し、中学生、高校生、大学生、さらには一般の人が参加しやすい仕組みを作ると良い。

今回は、具体的なワークシートの内容について議論する予定である。

### 【観光交流課グループ】

玉藻公園を活用したナイトタイムの取組を課題として議論している。あなぶきアリーナ香川やサンポートがにぎわう一方、その来場者が商店街へ流れない状況に課題を感じており、市としては玉藻公園を利用してアリーナと商店街をつなげ、人を呼び込む試みを検討している。イベントについては、単独開催よりも周辺で実施されるイベントと連携させることで相乗効果を狙うべきだとの意見があった。例えば音楽イベントに合わせてライトアップを行ったり、かがわマラソンに合わせて、スポーツ関連の催しを実施したりすることで、新たな層への認知を広げられる可能性が考えられる。

玉藻公園を音楽イベントの会場として活用する案として、ライブの開催や高松国際ピアノコンクールに合わせてピアノが聴ける音楽イベントを開催するアイデアが出た。

また、県産品の試食会やコーヒーフェスタ、日本酒の試飲会のようなイベントで来場者の小腹を満たし、商店街へ誘導する案が出た。特に、日本酒の試飲会は、高松には酒蔵が少ないため、商店街で提供される日本酒を集めて来場者に試飲してもらい、商店街の店舗を紹介することで消費者を誘導する動線を作るというアイデアが出た。

イベントの開催時期については、瀬戸内国際芸術祭の開催期間中、昼間に島を訪れた観光客が夜に街中へ滞在する流れを作るのが良いとの意見が出た。特に金曜日や土曜日が参加しやすく、終了時間は午後 8 時～9 時頃にする事で物足りなさを感じて商店街へ誘導できる。

また、行政が毎年イベントを開催するのは費用面で課題があり、収益を上げつつ民間に運営を引き継ぐことが望ましいが、民間が玉藻公園の夜間活用について十分に認識していない可能性があるため、市が夜間開放日を設けたり、イベント補助を行ったりして、玉藻公園の利用方法を PR することで、長期的に持続可能なイベント運営につながるという意見が出た。

#### 【農林水産課グループ】

高松のおいしい魚の消費拡大を目的として、親子世代に「高松の魚はおいしい、安い、新鮮だ」ということを伝えるということで議論している。

今回のチームの議論のゴールは、来年度の事業の実施に向けて、その企画書を作成することである。

委員からいろいろなアイデアが出たが、それらを「商品・サービス系」と「PR・イベント系」に分けて検討した。

具体的には、「商品・サービス系」では、対面で行う事業として、学校での PR、お店でお魚ライブイベントの開催、キッチンカーの出店、体験ツアーの実施、という案が出た。

また、販売店で漁師さん個人を PR する仕掛けや、回転寿司屋とのタイアップ、家やお店での海鮮丼の普及というアイデアが出た。

一方、「PR・イベント系」では、SNS の活用や YouTuber の活用、時短レシピコンテストなど若者が興味を持つ情報を発信する案が挙がった。

また、事業の販促のアイデアとして、ふるさと納税への展開の意見も出され、瞬間風速的な事業ではなく、消費拡大につながるような仕組みを考えていきたい。

アンケートの結果、「高松の魚はおいしい」という認識があるということが大前提とし、魅力を伝える事業を構築したいと考えている。

今回、頂いたアイデアをまとめたものを次回の会議で提案したい。

### 3 閉会

(事務局から事務連絡をして閉会)